

(旧) 県民交流広場 全県オフィシャルホームページ 掲載記事

掲載コンテンツ：リレーコラム

掲載時期 平成 28 年 3 月

テーマ ー愛される地域、ふるさとづくりをみんなでー

寄稿者 西宮市 鳴尾東コミュニティ協議会

当協議会は、鳴尾東小学校校区の 4 自治会を中心に、地域の各種団体をメンバーとして、人々がふるさとは此処、と思えるようなコミュニティづくりをめざして活動しています。

県南東部、西宮市でも武庫川の再下流部に接するこの地域は、武庫川の河口洲を開墾して田畑が作られ、貴族荘園や領主の支配地として推移しましたが、昭和に入って海岸部の埋立て・工場誘致による従業員社宅などとして宅地化が進みました。

しかし、30 年代に起こった粉塵等の公害問題が発生し、当該企業の郊外移転などによって、社宅はマンションなどによって変わって現在に至っています。この公害反対運動において、地域の安全環境を守るため、校区自治会一体となって運動の結果、企業の移転等により一応の決着を見ることができ、発展的に「鳴尾東コミュニティ協議会」が発足しました。地域を守ること、地域を住みよくすることは、隣近所を核とした住民の広い繋がりが大事と、逐次、地域活動各種団体も参加し、以降ふるさとのまちづくりに取り組んでいます。

協議会発足の頃、活動の中心は 30 歳～50 歳台の青壮年層が担っていましたが、社会生活の変化等により近年は 60 歳～80 歳台となってきました。我が地域における 15 歳～64 歳の人口は約 65%といわれており、地域のふるさとづくりを進めるのはこの年齢層が中心になるべきだと考えています。

近年は、マンション開発などによる人口増が進んでいますが、新旧住人の交流は進まない状況で若い世代に期待する声はなかなか届いていないのが現状です。

これらの状況を踏まえて、今後の地域活動の進め方を考えるとき、これが正解というものはありませんが、まずしなければならないのは、住人の目を地域に向けてもらう、そのためには、形が見えるような活動を増やし、見て、参加して、活動に協力する機運を作り出す活動形態を進めることとしました。

平成 23 年度県民交流広場事業に採択されたことにより、地域の先人が学校立替に伴う廃材で建てた上田公会堂を整備するとともに、活動経費の助成を有効活用し、見える形で以下のようなイベントを行っています。

<主なイベント>

そうめん流し大会、カラオケ・ふれあい喫茶、敬老会、奨学式、ふるさと祭り・夏祭り、うねナリエ(越年イルミネーション)、映画会、観劇(地域演劇集団)、防犯パトロール、手作り作品展、体育会、クリスマス会、防災イベント「1.17をわすれない」、手芸講習会、健康体操、幼児教室など



ふるさと祭り (パレード・盆踊り)



上田公会堂・うねナリエ



そうめん流し

なお、上田公会堂は、各種イベントの開催や行事のバックヤードとして使用されるほか、地域の集会や会議、PTAなどの講演会、地域各種団体の親睦会・同窓会など、民間施設の長所を活かして広く利用されています。

5年間、上記イベントや地区清掃・子ども見守りなどの地道な活動を行ってきた結果、子どもに同行する両親の参加なども増えてきており、住民の目は地域に向きかけていると感じています。

平成27年度で助成が終了しますが、平成28年度以降も今までの流れは変えずに低経費の手作り運営を心掛け、活動を継続していくとともに、若い層が積極的に地域活動に参画するよう願っています。